

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月22日更新

事務事業名		少子化対策総合交付金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	末永 大樹
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	関岡 春奈
	施策の柱	21	地域医療体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	1632
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	母子保健法		
	一般	4	1	6	11770				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県が令和元年10月から実施している少子化対策総合交付金事業。結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化し、出生数の増加を目指す。①結婚チャレンジ補助金：婚活イベントを実施する団体に補助金を交付する（事業運営は企画課）。②一般不妊治療費助成：不妊症の夫婦に対して、不妊治療のうち保険診療である人工授精に要する費用の一部を交付する。③早産予防対策：早産予防のため、妊婦に対する膣分泌物検査、菌周疾患検査に要する費用の一部を交付する。④市町村創意工夫事業：少子化対策に資する事業に対し交付される。※歳入のみ⑤市町村事務費：本交付金事業を実施するための事務費を交付される。
【業務の流れ】	・委託医療機関との契約事務、受診券発行事務、委託料支払事務、受診結果管理、助成事業受付支払い事務 ・補助金申請事務
【主な予算費目】	需用費（一般消耗品、印刷製本費） 役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市独自の不妊治療への助成はないか、出会いの場が欲しいなどの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動) (DO)	① 結婚チャレンジ：婚活イベントを1回実施(委託)	5年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
● 一般不妊治療費助成：申請者数34件、交付決定者数33件	● 早産予防対策：妊婦健診事業での膣分泌物検査 473件、妊婦歯科健診受診者数 226件	今年度同様、引き続き事業を実施予定。
● 創意工夫事業では、心理相談事業を実施 相談者数 延べ450人		県補助金の要綱改正により、令和5年度から一般不妊治療費助成は1件あたり4万円へ減、創意工夫事業は廃止予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア! 不妊治療費助成申請者数	人	創意工夫事業の廃止による心理相談事業費の増
→ イ! 膣分泌物検査、菌周病検査実施者数	人	熊本県医師会による妊婦健康診査委託料の単価及び健診対象者見込数の増による、委託料及び扶助費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市に住民票を有し不妊症と診断された人及び合志市に住民票を有する妊婦		→ ア! 不妊治療費助成を希望する人(申請者)
		→ イ! 合志市に住民票を有する妊婦
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市の出生数が増える		→ ア! 不妊治療費助成申請者で母子手帳を交付した人
		→ イ! 出生数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
この事業は少子化対策として出生数の増加を図るためのものであるため、妊娠の成立、早産予防対策が不可欠である。よって、その状況を把握する必要がある。		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 人	35	22	40	34	40	40	40	40
	イ 人	799	568	910	699	910	910	910	910
② 対象指標	ア 人	35	22	40	34	40	40	40	40
	イ 人	554	563	630	542	630	630	630	630
③ 成果指標	ア 人	18	6	20	5	20	20	20	20
	イ 人	607	593	630	545	630	630	630	630
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	3,191	2,131	3,337	2,598	3,668		
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	55,719	54,428	62,287	52,485	64,245		
	(A) 事業費計	千円	58,910	56,559	65,624	55,083	67,913	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	6	4	5	4	0	0
	延べ業務時間	時間	438	1,082	969	290	969	0	0
	(B)人件費計	千円	1,727	4,230	3,860	1,103	3,860	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	60,637	60,789	69,484	56,186	71,773	0	0

事務事業名	少子化対策総合交付金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 令和元年10月から新規で開始された。事業内容（結婚チャレンジ・一般不妊治療・早産予防）については、目標値に至っていない。広報誌やホームページでの周知を継続して実施していく。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 若い世代の転入数の増加が見込まれるため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化することで、少子化対策の一助となるため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 検査は専門知識と技術を要するため委託しているが、委託料や助成額等の設定は県下統一、もしくは歯科医師会との協議で決定しており、必要経費としては最低限で計上している。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的な内容は医療機関へ委託し、事務的な処理は必要最低限の職員で実施している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 助成額は県下での統一料金であり、妊婦歯科健診・膣分泌検査は無料のため公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門分野は医療機関への委託、補助金の支払い事務等は行政と分担されており適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

少子化対策として結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを実施し、出会いのきっかけづくりや経済的な支援により妊娠する機会が増え、妊娠中の健康管理を行うことで正常産での出産を迎えることができるように、今後も制度の周知や啓発を行っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						